

GOOD MORNING

実践を
「あ
らび
な
い」
と
い
う
か
ら
進
め
たい
あ
な
た
へ
!

p.2-4 「実践の成果の集大成！今年も開催会員スピーチFesta」

p.5-7 「まさに人生の指南書！RINRI QUEST 冒険の書誕生！」

会員スピーチ Festa VOL2 開催によせて



モーニングセミナー委員会
篠原由香 委員長

昨年、令和5年度東京都決誓大会の中で、初企画として「会員スピーチFesta」を開催いたしました。会員スピーチFestaは、「イベント」ありきではなく、各単会のモーニングセミナー（以下MS）での【会員スピーチ】の充実が目的です。

会員スピーチは、会員さんの「生きた」実践報告の場であり、MSの真の要です。

会員スピーチが充実している単会は、ひとりひとりの実践力が高く、体験を出す会員さんが増えていき、必ず発展していくと確信しています。

その思いから昨年度会員スピーチFestaを開催しましたが、参加者全員が刺激を受け、自分も実践を行おうと決意を固められたと思います。開催後ブロック別のビジョン会議等で、惜しくも当日登壇できなかった、ブロック内の素晴らしい候補者の方々に会員スピーチをしていただいたという嬉しい報告もありました。

今期も、各単会からどんなダイヤモンド原石が発掘されてくるのか？楽しみでなりません。

昨年の会員スピーチ Festa の出場者、応援者の会長に思い出をお聞きしました！

会員スピーチフェスタでのスピーチの機会をいただき本当にありがとうございました。
大好きな銀座の仲間から私の愛称である【みかん】の被り物をしての素晴らしい応援を頂きました。どれだけ心強かったことか。汗をかきながら、笑いながら、何度も何度も練習して下さったことは今でもしっかり覚えています。
オレンジ色のうちわで会場から多くの方が応援してくださる姿も見えました。本当に嬉しかったです。当日は、飾ることなくありのままだと思っていました。また、ご先祖様の応援を感じており、緊張しつつも安心感をもってスピーチすることができました。あちこちからよかったよと声をかけていただくことも増え、実践することの素晴らしさを体感したことでますます実践していこうとの思いが高まっています。これからも実践し続けていきます。

銀座倫理法人会 太田みか子 副専任幹事



自単会から出場者が出たことでの単会への影響ということで、非常に自分の単会を誇らしいというような心境の変化や一致団結感が第一にありました。会長としては、単会において礼の実践を推奨し、会員の皆さんが倫理の実践をして自己革新をしていくことが一つの形になり、非常に嬉しかったです。ファイナルスピーチには12人の応援団で参加しました。最初は面倒だなという感情もあったかと思いますが、応援の練習をしていくうちに変化がありました。一致団結感が出て、何か面白いなというような形になり、被り物もして、非常にいい感じで、非常に盛り上がりました。出場の前と後で会員スピーチに対する重要感が、以前より増したと感じています。

銀座倫理法人会 飯田友一 会長



去年の応援合戦優勝は
「福生・羽村倫理法人会」

私は本当に人前に出て話することが苦手なので、出場するのは正直嫌でした。でも目の前にきた事に対して、親がジタバタして、いろいろ理由をつけてやらないでいたら、子供にも悪影響がでる、ということも、その時実感したのです。目の前に出されたことは、自分がやるべきこと。それに取り組むのも、嫌々ではなく、快く行すべき。そのことに最初に気づかされました。それから本番に向けては、野村会長はじめ、名だたる諸先輩方が、夜な夜な私の原稿を見てくださいました。それまでは倫理の事をよく判ってなかったけれど、言葉尻や葉との整合性など、諸先輩方とのやり取りの中で、倫理の歴史や繋がりを教えていただきました。これは物凄く貴重な経験でした。



Festa当日は、全く知らない方々からも激励をたくさんたくさんいただき、仕事上のご縁も繋がりました。実は未だに「Festaに出た人ですよ！」と言われます。日本全国から世界にも繋がる人脈が出来ました。Festaに出たことによって、いろいろなことに前向きになれたし、ハッキリと目標も出来ました。新宿区倫理法人会 中田佳子 幹事



会員スピーチFestaに新宿区から選出されて嬉しかったのはもちろんですが、この体験報告を皆様へぜひ聴いていただけたことが大きな喜びでした。

東京都の決闘会では堂々と発表された姿が今も記憶に残っています。

新宿区では中田佳子幹事(当時運営委員)を推薦しました。

会員スピーチでは100日MSに通われた体験発表をされ、その直感や理屈なく素直に実践された行動力のお話は大変印象的で、お仕事やご家族との関係にも繋がっているお話でした。後日ブロック代表で選出されたことに驚かれスピーチは本当は苦手な話で困ったと本心をお話された時に、海外で頑張っているご子息のことを思い出され、周りのために頑張っていることが息子のためにも繋がることなのだと話されたことが印象的でした。

機会を受けとめ、精一杯取り組もうと決意された意思が素晴らしかったです。会員スピーチFestaから一年、新宿区では会員さんの倫理の学びを通し、実践に基づいた体験報告がより聞けるようになってきたと感じております。新宿区倫理法人会 野村敏之 会長



昨年度会員スピーチFestaでブロック代表に選ばれ、京王プラザで東京都の役職者の皆様の前で話をさせていただいた経験はとても貴重なものとなりました。

自らの経験、実践を人前で話すために原稿をまとめる作業は、改めて自身の頭の中を整理する時間になりましたし、そのことにより現在の課題も見えてきたように感じます。

単会では事務長という大役をいただき、運営を円滑にするだけではなく、会長と心を合わせる実践に取り組みながら、いかに自分がわがままであるかを痛感しながら、会社の中で社員さんが社長である私とどうしたら心を合わせて仕事をしてくれるようになるかということを考えながら苦戦をしております。

人の前で自身の話をすることは大きな学び、気づきを得られると思います。

今年度も多くの皆様にチャレンジしていただきたいと思います。

福生・羽村倫理法人会 瀧島忠典 事務長

まずは、倫理的な会社運営を進める瀧島忠典さんが、スピーチフェスタの人選で一番に浮かびました。そして、その後なんと東京都選出の最終3名へ！

まずは、その本戦での応援合戦で、仲山亞希専任幹事を中心に、福生・羽村が一丸となることができました。

しかも応援合戦優勝により、結束力が高まりました。

素晴らしいスピーチをしてくれた瀧島氏は、その後当会の事務長を担ってもらい、現在とはとても活性化をされて、事務長の仕事をこなしながら、会のために様々な試みの提案をしてくれています。

大運動会参加時もそうでしたが、やはり大きなイベントに会で取り組むということは、結束力を生む大きなきっかけになると思いました。

福生・羽村倫理法人会 村山裕一郎 会長



今年の会員スピーチ Festa の出場者を選ぶ地区長・ブロック長をご紹介します！



及川寿彦
第1ブロック長

会員スピーチの場では、純粋倫理を学んで、実践して、自分が変わった体験をとにかく明るく元気にスピーチしてください。自分が実践したことです。しっかりと自信を持って伝えてみてください。あなたの明るさと元気が、共に学ぶ仲間にも伝わって、幸せが拡大していきます。応援しています！

及川寿彦 第1ブロック長

第三ブロックのみなさん！
会員スピーチFesta、楽しみにしています！
是非、真っ裸になる様な、それぐらいの会員スピーチでみなさんに曝してください！
そして、感動の嵐で包んでください！イェーイ！！
加藤直人 第2ブロック長



加藤直人
第2ブロック長



黒澤秀樹
第3ブロック長

会員スピーチフェスタへのチャレンジ、ありがとうございます。

会員スピーチと言えば、5分という限られた時間の中で、倫理を学び、気づき、どう実践し結果がどうなったかの自らの体験を伝えるという、まさに本質的なチャレンジです。

昨年度もチャレンジした方はどなたも、やって良かったと言っていました。

今回の会員スピーチフェスタへのチャレンジも全てご自身の経験値を積むことになり、結果仕事やプライベートにも繋がっていきます。

周りの倫理の仲間の力を借りて、のびのびと楽しんでチャレンジしてください。応援しています！

黒澤秀樹 第3ブロック長

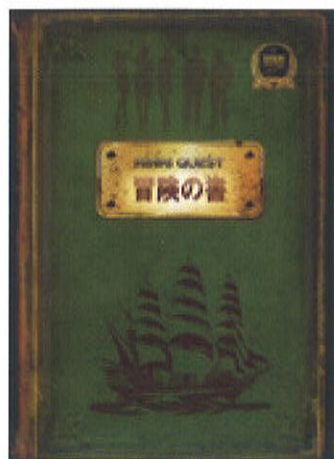
会員スピーチFestaに参加いただく会員の皆様
このたびはエントリーをありがとうございます。
倫理法人会では本年 人は鏡の実践をとおして
たくさんの倫理体験の発表をいただいています。
倫理法人会に入会後取得された知識を素直な心で挑戦と実践いただきました。
内容成果を発表いただくことを心より楽しみにしております。
みなさまの実践の体験が広く会員の誇りと勇気につながることを祈念しております。
石場 裕美 第4ブロック長



石場 裕美
第4ブロック長

私の所属する新宿区では、毎月の役職者会議でフェスタの案内を行いました。
単会の代表を選考するに当たり、会議の中で「〇〇さんの会員スピーチ良かったね」
「△△さんも良かったよ」という声が出てきたときには、「コレだ」と感じました。
こうやって、会員の方の意識を変える事。そして会員スピーチが実践報告となり、
聴いた会員さんの刺激になり、単会の実践の意識やレベルが上がっていく。
そんなきっかけを感じた瞬間でした。
今回、実行委員長として、選出された代表の方が、
思い切ってスピーチできるような場づくりと、
参加した皆さんがしっかりと耳をかたむけて聴いてもらえるような場づくり。
そして、フェスタで感じたことをそれぞれの単会に持ち帰って拡げてもらえる。
そんなフェスタになれば最高です。
MS委員の皆さんと協力して頑張りますので、当日を楽しみにしてください。
会員スピーチFesta実行委員長 蕪木大(新宿区・副会長)





まさに人生の指南書！ RINRI QUEST 冒険の書 誕生！

東京都倫理法人会独自の委員会として昨年度から活動している定着委員会は、倫理法人会での学びと実践を長く継続し、定着させることを目的としています。設立2年目の取り組みとして新入会員に向けての実践のスタートブックが作成されました。このスタートブックはどのような思いで作成されたのか。作成の中心になった森田芳男定着委員長他4名の定着委員の方々にお話を伺いました。

【スタートブック作成メインメンバー紹介】

森田芳男氏 定着委員長

倫理歴2003年入会。3年7か月で一度退会2011年再入会。事務長、会長、地区長、副会長(ブロック長)を経て現在定着委員長と立川昭島副会長
仕事は自動車修理工場3代目社長

神尾昭央氏 副委員長

倫理歴2010年入会。現在、江戸川区倫理法人会相談役
仕事は介護事業所・訪問診療クリニック・飲食店経営。江戸川区議会議員

岩城弘一氏

倫理歴2014年入会(立川昭島)、現在は小金井市倫理法人会副専任幹事。
入会半年後に広報委員会に所属、まもなく副委員長を拝命、数年間務める。
仕事はデザイナー他多数。

小林禮倫氏

倫理歴2021年入会。赤坂倫理法人会幹事。赤坂倫理法人会立ち上げのタイミグから参画。定着委員会は2年目。
テラシフトプロジェクト ~本気で愛の地球(ほし)づくり~運営事務局メンバー、一般社団法人宇宙力学研究会 研究員



【スタートブックへの想い】

<小林氏>

そもそもの作成の目的は、新入会員の定着です。目的を果たすためには、堅苦しい内容ではなく、継続していただくためには「いかに、わくわく楽しめるのか」が大事だと考え、それを表現したいと考えていました。ゲーム世代の私には、最初から冒険の書のイメージがあり、制作されたものがそのイメージ通りで嬉しいのです。

<岩城氏>

今期から定着委員会に所属、森田委員長にデザイン依頼されました。原案となる文章を読みながら、「学び・実践・悩み・成果」という構成を思いつきました。それを書籍の目次に当てはめると、「海図」というビジュアルイメージが自然に湧いてきて、各章を「島」と想定しました。しかし「悩み」という言葉が否定的との意見が出て、小林さんの案で「導きの島」となりました。倫理を学び実践するためのガイドマップ、更には人生のガイドマップ的な役割を果たしてほしいと思っています。

書籍のデザインは森田委員長を中心とした定着委員会の構想、そして、小林さんの意図・イメージをどれだけ具現化して伝える事が出来るかが今回のミッションとなります。ビジュアルは主にAdobeのIllustrator・Photoshopで材料を作り、InDesignで編集しております。「海図」のイラストや「RINRI QUEST・冒険の書」のタイトルプレート類はイラレ・フォトショで作成しましたが、他のイラスト類は主に生成AIを活用して作成しております。ちなみに、AIに出した共通のプロンプトは「大航海時代の『×××××』を日本のマンガアニメタッチで」というものでした。



<神尾氏>

昨年度、初めて定着委員会を結成することになり、初年度の委員長を拝命しました。当初は何をしていいかわからず、手探り状態でした。それでも各委員会メンバーから「定着」に向けた取り組みを聴きこんでいくうちに、スターターブックを成果物として作成したい、と考えるようになりました。

初年度のうちの作成を目指しましたが、間に合わず、森田委員長に引き継ぎました。2年越し、悲願の完成です。当初に思い描いていたものと全く違いますが、そのときの構想以上にいいものになりました。



<森田氏>

定着委員長を引き継いだ際には作成は決まっており、出来るだけ早い時期に作成しようと思っていました。「定着の目的のための書を作りたい」という思いを引き継いでイメージしたことがあります。私は剣道をしています。初心者で入門をすると、指導者からは基本を繰り返し、忠実に教えられます。そうして、日々淡々と練習の繰り返しをしている中で、すこしづつ成長していき、課題はその段階によって異なります。

それに対し、倫理法人会の学び方、実践のは一緒くたですが、課題が一人一人によって異なります。スタートブックは最初主人公が成長していくストーリーの本にしようと考えていました。しかし、一人一人成長のプロセスが異なるので、宝を握って歩んで行って欲しいという思いで作成することにしました。



【エピソード】

作成期間は約半年。

<小林氏>

本書を3年間、継続的に、いつも持ち歩ける存在にするために、ワークシートを本書に実装する、というアイデアが定着委員会の中で、生まれました。

このように皆が自由に発言できる場は、1年目の神尾さんが委員長の時から作られてきたもので、森田委員長になってからもこの空気感はず変わらず、だからこそ様々な意見が自由活発に繰り広げられ、とてもいい内容になったと感じています。

なお、ワークシートは、最初は本書に印刷して掲載したかったのですが、今後の改善を考慮して、今回はQRコードからクラウド上のデータに飛び、自分の実践記録できるツールにしました。また、スタンプラリーの様にすることで、コンプリート欲が刺激され、モチベーションにつながるのでは？というアイデアから出てきました。



<森田氏>

どんなスタートブックを作成するかをまとめるのが大変でした。途中からは少人数での制作に切り替えて、途中プロセスを委員会で意見を聞く様に変えました。定着の定義は「入会后3年間在籍し学び続ける」としています。最終的には一度読んで終わりではなく実践のガイドラインとし常に槩と一緒に持ち歩き成長のプロセスを実感できるものにしようということになりました。

<神尾氏>

委員長をしていた1年目で完成できなかった最大の理由は、皆の意見を聴き過ぎてしまい、案がまとまらなかったこと。森田委員長に変わって劇的に変わったのが、まずは少人数でモデルとなる形を作ろうとした点。やりたい人でグループを作成。それにより急激に動き出した。素案が出来て定着委員会の皆に見せた際に、会場がわっと沸いた。そこから完成に向けて皆のスイッチが入り、ギアが上がった感覚がした。



<小林氏>

委員会では、多くの方の意見がでてくることで集約するのが難しいと感じていました。

そこで、委員会全員でのMTGではなく、有志による編集委員会を立ち上げ、その場で「こういう事だね?」と岩城さんにイメージを伝え、イラストにして貰った。目に見える形になり、インプットとアウトレットと皆で意見し岩城さんに伝えました。

マイナスWordを入れない様にし、むしろわくわく感と、自分自身が入会当初感じていた率直な感想や感覚を大事に文章を書きました。

一番最初にあがってきた表紙は、ハリーポッター風でぼく的にはとてもいいと思っていましたが、少し暗かったため、女性からもっと明るいディズニー風がいいというご意見をいただき、明るい感じに変更。また、常に意識したのは、本書の目的はあくまでも「3年間の定着」であり、そのためには、情報を網羅した辞書のようなものを作成するのでは無く、あえて不完全な部分をつくることで、先輩会員とのコミュニケーションが生まれるような設計を意識しました。

私たちは、定着委員会であり、教育委員会が目指すところとは違う、というのは会議の中でも何度も発言しました。

また、ところどころに会員の声を入れ、どこからでも読める様に工夫した。また敢えて梨と一緒にの大きさにしました。それは、どこでもいつでも梨と一緒に置けるようにという思いからです。



こんな使い方をしてほしい

<神尾氏>

成長度合いを自分でチェックできるように。自分がどの位置にいるのか、一人では難しいので紹介者と一緒に二人三脚で使用して欲しい。

<岩城氏>

ただの読み物ではなく、どう機能させるか、今後改定版も作成していきたい。



<森田氏>

メンター(新入会に寄り添い導く人)がコミュニケーションツールとして、その人の成長のサポートとして活用して欲しい。そのために定着委員会でメンター教育もしていきたい。

<小林氏>

タイトルは堅苦しさを無くしたく、倫理を「RINRI」と表現しました。是非これを皆様の必携アイテムの一つにして頂き、ボロボロになるまで使用し各自の冒険の書にして欲しいです。ツールとして本書が無ければ、今の自分がない。といつか言われたらめっちゃめっちゃ嬉しいですね。

<振り返り感想>

小林氏 本プロジェクトに深く関わらせてもらったことに感謝です。また、ぼくのアイディアをみなさまが常に好評価で受け入れてくださったのも嬉しかったです。RINRIクエストとか、少しふざけたような表現もいくつかありますが、このようなアイディアを否定されることなく、むしろ、議論やアイディアが深まり膨らみこれに繋がりました。

ただ、本書は作って満足してはいけません。現時点では50%の満足度。使われないというのは避けたい。むしろ、ここからが本番。今ようやく5合目。むしろ気持ち的には1合目位の感覚でここからも取り組み続けたい。一人でも多くの人に注目して、実際に使っていただきたいですし、どんどんいいものに改善していきたいと思っています。



配布:今週中にまず4000部印刷。GW明け位に、各単会に何部か渡せるよう、今後3役会を経て、決定予定。今年度の新入会員には無料配布出来るようにしたい。

kindleも今後計画予定。

東京都倫理法人会の皆様へ

安心のサービスをご提供いたします。

葬祭業安心度調査AAAの東京葬祭が
明瞭なお見積りと豊富な経験・実績でお応えします。



ご葬儀は安心して任せられる
東京葬祭

もしもの時は、セレモニーコールセンターへ。

0120-88-6111 年中無休 24時間受付

お問合せの際は「倫理法人会会員」とお伝えください。

- 倫理法人会ご優待内容
- ・葬儀基本セット **30%OFF**
 - ・供花(御葬家分) **10%OFF**
 - ・仏壇、仏具、墓石 各種割引

日経新聞、TBSテレビ、テレビ朝日など多数のメディアで紹介された葬儀社

フラワーデザイナーとつくる 世界でたったひとつの花葬儀®

はなそうぎ 検索

東京・神奈川・千葉・埼玉 約800式場で対応しています

通話無料 24時間365日対応

0120-181-087

株式会社LIVENT
【佐々木礼子氏監修2023】オブザイヤー最優秀賞受賞!

YouTube 動画配信中!

どこでも出張バーベキュー!

食材 備品 機材

手ぶらで 3,850円 (税別)

すべてセットに なります!

03-5879-4503 東京都江戸川区中央 2-31-10-103

【営業時間】AM10:00~PM21:00 年中無休

満員御礼 講演会好評でした



感謝を込めて公開!
聞くだけで 経営の神機が 降りてくる 伝説の音声(フル)を プレゼント

スマートフォン のカメラでQRコードを 読み取ってください

「今に生きる」

今がチャンスだ。今が最善。 今の中に過去のすべてが入っている。 今の中に未来のすべてが入っている。 今を変えれば過去のすべてが変わる。 今を変えれば未来のすべてが変わる。 今を変えれば周りのすべてが変わる。 今に生きれば生命が活動する。 今に生きれば魂が輝く。 今こそチャンスだ。 今ここに縁がある。 自己を変えるチャンスは今しかない。 今、今、今、今の中にすべてがある。 今、決意せよ。今、行動せよ。 人生とは今のことだ。 過去は過去をグズグズ悩むな。 未来は未来を心配するな。 未来はどこにもないのだ。 今の心の中に過去も未来もあるのだ。 今に感謝せよ。今を愛せよ。 すべてが完全なのだ。 今とは半端なことをいうのだ。 ありがとう。ありがとう。

佐藤康行

お問い合わせとお申込みは、☎電話、WEBのいずれかにて

TEL 070-8450-9462 事務局直通(平日6時~18時) メール info@ys-consultant.com まで

中央シャッター代表取締役

市川慎次郎の新刊

人生100年時代。 働き方の意識も時代とともに変わります。 超高齢時代の先端を行く中央シャッター。 かんき出版からオファーがあり、 この度、新刊出版が実現しました。 お手に取っていただけますと幸いです。

新入社員は78歳 市川慎次郎

絶賛発売中

全国の手書店、 Amazonからも購入できます。

(株)中央シャッター (株)中央デント

公式 LINE 公式 Facebook 公式 YouTube 公式 Instagram

東京都倫理法人会 公式アカウント ぜひご登録を!